

2019年度（2019.5.1～2020.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（神奈川県社保協）

記入者（根本隆）

この一年間の取り組みの特徴について

（1）新型コロナウイルスの感染に関わる支援対策 国・県・市町村で拡充

- ① コロナ感染に関わって、国保と後期高齢者医療の「傷病手当金」と保険料の減免について、全33市町村と広域連合で制度化を実現した。
- ② 地域から各自治体要請をすすめ、地方創生臨時交付金を活用するなど、国と神奈川県の支援策に上乘せ、県内の自治体で独自の支援の拡充を実現した。
- ③ 4月26日に「いのちとくらしを守る『コロナ相談会』」を実施し、12団体から26人が参加し、16件の電話相談を受けた。

（2）神奈川県・各市町村と連携して国保改善の取り組みをすすめた

- ① 9月に、2019年度の市町村国保料（税）調査を実施し、全33自治体から回答。保険料（税）の減額9市町、据え置き11市町、引き上げ13市町村。法定外繰入は、国の圧力があって全体として年々減少しているが、5市町で増額した。
- ② 4月に、2020年度の市町村国保料（税）率調査を実施し、全33自治体から回答。大井町・清川村が今年度から子どもの均等割を全額減免（双方とも18歳以下まで）。中井町に続いて箱根町が均等割を第3子から全額減免。また、横浜市と川崎市は、子どものいる世帯の所得割の軽減措置をとっている。保険料（税）額は、7自治体で引き下げ、2自治体が部分的な引き下げ、据え置きが13自治体。
- ③ 11月16日に「2019全県国保改善交流集会」を開催し全県から62人が参加。
- ④ 県の医療保険課、市町村の国保課との懇談をすすめた。厚木市の国保滞納・差押え問題で厚木市との要請・懇談をすすめている。

（3）介護保険の利用者と家族を中心に据えて、介護保険改善の運動をすすめた

- ① 2月9日、「介護保険20年 いまと未来を考えるつどい」（実行委員会主催）を開催し147人が参加。公益社団法人・認知症の人と家族の会代表理事の鈴木森夫さんに講演をお願いし、介護利用者と家族、介護職場で働く人が43人、13の介護事業所からの参加があった。
- ② 11月11日、「介護・認知症なんでも電話相談」は17件の相談を受け、民医連からケアマネ・ソーシャルワーカー6人をはじめ9人の相談員で対応した。
- ③ 神奈川県や各市町村にたいして、民医連などの各団体や地域社保協で要望書を提出し、懇談をすすめた。

（4）“怒り”を組織化して、後期高齢者医療制度の取り組みをすすめた

- ① 8月1日に開催した「後期高齢者医療制度“怒り”の行動」スタート集会は、灼熱の中、県内各地から12団体・個人93人が参加した。
- ② 8月下旬から9月中旬にかけて、「後期高齢者医療制度“怒り”の行動地域のつどい」を、県内15カ所で開催して約200人が参加して開催した。9月19日、神奈川県後期高齢者医療審査会への不服「審査請求書」の集団提出行動に17人参加して174人分を提出。
- ③ 8月と3月の後期高齢者医療広域連合議会に対し、陳情書を提出。3月には、75歳以上医療費2割化反対実行委員会の「後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書提出の陳情」と、県社保協の「後期高齢者医療保険料の引き下げを求める陳情」を提出したが不採択となった。地域社保協として、各自治体に国への意見書提出の陳情を行っている。

④ 3月6日、75歳以上の医療費窓口負担の2割化反対実行委員会を旗揚げし、運動を再スタートした。4月16日に、75歳以上の2割負担化中止の運動の具体化を提起するスタート集会の開催を予定していたが中止し、10月1日に、再スタート集会を予定している。

(5) 医療・社会保障制度の拡充を求める運動、その他の取り組み

① 11月26日、全県から480人の参加で、第14回「輝け高齢期かながわのつどいin 港北」を開催した。

② 神奈川県子どもの医療費無料化を求める連絡会が取り組んだ、神奈川県に対する「小児の医療費助成の拡充を求める請願署名」は、11月末に5万3528筆を集約し、県議会に提出した。

③ 12月24日、神奈川県に対し、神奈川労連・医労連・自治労連・国公労連・全医労の各組合と県社保協6団体の連名で「厚生労働省による『地域医療構想』推進のための公立・公的病院の「再編・統合」に抗議し、地域医療の拡充を求める要請」をした。2月7日、年金者組合津久井支部が、再編統合に名指しされた相模原赤十字病院を訪問し懇談した。2月末、三浦の医療と福祉を守る会が「三浦市立病院の存続を求める署名」に取り組み、市民の1割を超える4329筆を三浦市に提出した。

④ 2月25日、藤沢市社保協と神奈川県障害者連絡会が、藤沢市に「障がい者福祉事業」等の継続を求める署名2212筆を提出した。

⑤ 3月に「10月消費税10%ストップ！ネットワークかながわ」を結成し、集会・宣伝行動などに取り組んだ。

⑥ 横浜にカジノはいらない！9月からカジノの是非を問う住民投票の条例制定署名の取り組みを3万5千人の受任者のもとですすめる。

議員要請行動について(国会議員、地方議員等)

神奈川国会行動は、昨秋の臨時国会では3回行い、今年の通常国会では、1月22日、2月12日、3月11日に行い、4月15日と5月20日に予定した行動は中止となった。毎回、50～80人が参加し、地元国会議員に要請している。緊急事態宣言解除後の6月10日に63人が参加して行い、新型コロナウイルス対策（とくに雇用・労働・経済面を中心に）について、地元国会議員に要請した。

署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
① 「国の責任で社会保障の拡充を求める請願署名 (25条署名)	23,839筆
② 「介護改善署名」	14,191筆
③ 「後期高齢一部負担金2割化反対署名」	84,172筆
④ 「年金改善署名」	3,999筆
⑤ 「生活保護改善関連署名」	6,248筆
⑥ 「保育改善署名」	1,704筆
⑦ 「424共同・地域医療署名」 (三浦市への署名含む)	9,447筆
⑧ 「消費税関連署名 (増税反対・5%減税) 署名	78,479筆
⑨ 「憲法改悪反対署名」	132,691筆
⑩ その他 (中小企業の社会保険料と国民負担の軽減)	17,214筆
⑪ その他 (神奈川県小児医療費助成の制度の拡充)	53,528筆
2019年度内に結成した地域社保協 結成年月日(2019年9月21日) 名称 (川崎市宮前区社会保障推進協議会)	※準備会から 正式結成

第64回全国総会・文書発言用紙

<組織名・発言者名>

神奈川県社保協・根本隆

<テーマ>

神奈川県社保協の秋の重点的な取り組み（75歳以上の窓口負担2割化反対運動を中心に）

<内 容>

（1）後期高齢者医療制度（75歳以上の医療費窓口負担2割化反対）の取り組み

- ①10月1日に、「75歳以上の医療費窓口負担2割化反対署名」の県内10万筆をめざす取り組み推進の再スタート集会を開催する。住江憲勇さん（全国保団連会長）に学習講演をお願いする。（新型コロナウイルスの感染が広がり続けているため、学習講演はリモートでお話いただく予定）
- ②署名は、来年開催予定の通常国会に向けて、10万筆を目標にとりくむ。第1次集約は11月末、最終集約を来年2月末とする。中央の取り組みと連携し、秋に開催予定の臨時国会への署名提出、議員要請行動を具体化する。
- ③10月に、宣伝チラシ（保険医協会クイズチラシ）8万枚、新たな署名4万枚を作成し、各組織に発送する。地域での宣伝・署名行動の計画化をすすめる。県実行委員会として、月一回程度の定例宣伝行動を具体化する。
- ④県生協連、県消団連、老人クラブ連合会などに署名の取り組みを働きかける。県段階の組織（連合会など）は実行委員会で手分けして懇談をすすめる。地域段階の組織については、地域社保協・各団体の地域組織ですすめる。
- ⑤8月28日開催の後期高齢者医療広域連合議会に、「定率国庫負担割合の増加や国の責任ある財政支援を拡充すること」、「後期高齢者の医療費窓口負担については現状維持に努めること」の国に対する意見書提出を求める陳情を行う。秋に開催される県議会・市町村議会に、国に対しての意見書採択を求める請願・陳情運動に取り組む。9月議会、12月議会に提出（集中は12月議会）。
- ⑥後期高齢者医療保険料の不服審査請求運動は、9月下旬提出ですすめる。年金者組合と地域社保協で相談し、8月下旬から9月初旬に、できるところで地域のつどいを開催する。
- ⑦地域で「75歳以上の医療費窓口負担2割化反対」を軸に、医療や福祉に関する学習会やつどいを開催する。学習会用資料、クイズチラシなどを準備し、保険医協会の医師による健康講話出前運動などをすすめる。
- ⑧実行委員会の財政は、分担金、賛同金、カンパで賄う。2018年度の取り組みを参考にして、同水準（約40万円）の財政活動を行う。

（2）消費税の取り組み、ネットワークの新たな構築に向けて

消費税ネットワークに、生協県連、消団連が参加する方向で話し合いをすすめ、幅広い組織となるようにしていく。10月頃に発足できるよう準備をすすめる。

（3）秋の主な企画について

- ①2020 かながわ社会保障学校 9月5日（土）13:30～16:00（開場 13:00）
<学習講演>鈴木静さん（愛媛大学法文学部教授）
「津久井やまゆり園殺傷事件から考える『人権としての社会保障』」

- ◆新型コロナウイルスの感染が広がり続けているため、学習講演はリモートでお話いただくこととする。年金・生活保護・後期高齢者医療制度の3つの分野から発言をいただく。
- ②介護保険のいまと未来を考えるつどい 10月18日(日) 13:30~15:30
 - <学習講演>花俣ふみ代さん
(認知症のひとと家族の会常任理事・社会保障審議会介護保険部会委員)
 - 「どうするつもりか介護保険」～第8期事業計画、介護報酬改定に向けて～
 - ◆介護保険の第8期事業計画、介護報酬改定に向けた運動をすすめる意思統一の場とする。
- ③全県国保改善交流集会 11月14日(土) 13:30~17:00
 - ◆新たな国保運営方針の策定と市町村国保の改善を求める運動を意思統一する。

(4) 神奈川県・市町村にたいする取り組み

- ①新型コロナウイルスの感染が広がるもとの、自治体に対し、国の第二次補正予算の地方創生臨時交付金2兆円を活用した支援対策を求める。最重点に、PCR検査体制の拡充、医療機関と介護・福祉施設に対する経済的支援を求める。
- ②7月28日に、神奈川県に対して、コロナ対策の緊急要求を提出した。市町村に対して、9月議会に向けた緊急要請行動をすすめる。
- ③2020年度の市町村国保調査について、8月下旬に市町村に送付し、10月にまとめる。
- ④国保・介護・医療費助成を中心に、自治体懇談をすすめる。

以 上